

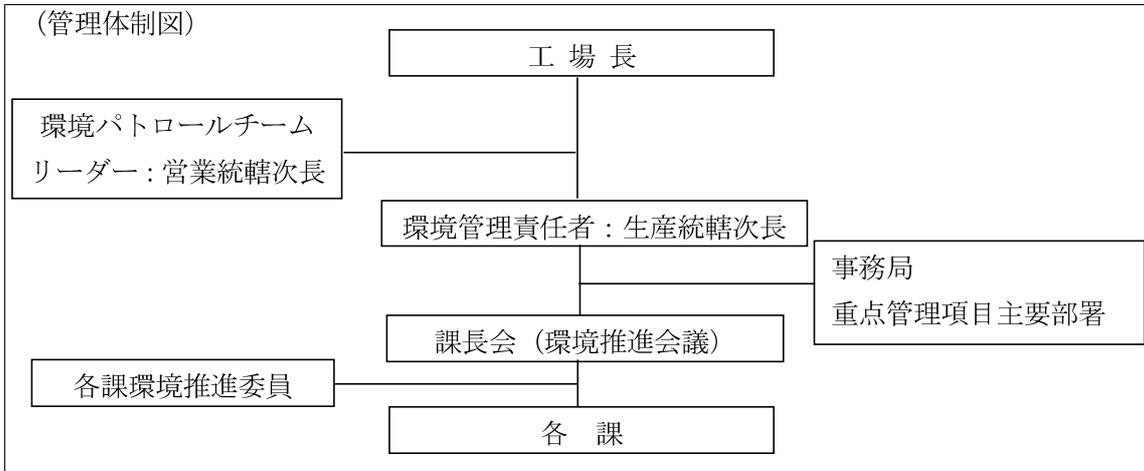
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年6月29日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県安城市二本木新町2-1-3	
氏 名 山崎製パン株式会社安城工場	
工場長 吉留 宏典	
電話番号 0566-77-7111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	山崎製パン株式会社 安城工場
事業場の所在地	愛知県安城市二本木新町2-1-3
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09：食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：4,157,894万円
③従業員数	1,449人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	[製造]動植物性残さ→再生利用業者に委託して乾燥処理後、飼料化 廃酸→再生利用業者に委託してろ過後、飼料化 汚泥→自社にて脱水し減量化後、優良認定処理業者に委託して肥料化 廃プラスチック類→処理業者に委託して焼却処理(排熱利用)後、埋立処分 [配送]廃油→自社配送により発生するエンジンオイルを再生利用業者に委託して油水分離後、再利用

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (平成30年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動植物性残さ、廃酸、廃油、脱水汚泥、廃プラスチック類はそれぞれに分別し、管理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別に関する取組として従業員教育並びに新たな処理先、処理方法の開拓を実施してリサイクル量の増加に繋げる。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,940 t	t
(これまでに実施した取組) ・毎日廃水処理場の状況確認を行い、必要に応じて処理を促進するための薬品を投入している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4,600 t	t
(今後実施する予定の取組) ・従業員教育により現場での節水やフイリング類の拭き取り継続による廃水処理設備の負荷低減で汚泥発生量の削減に取り組む。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】						
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃酸	廃油	汚泥		廃プラスチック類
	ロス生地・過剰製品 果実くず	液糖	エンジンオイル	汚泥	引抜き汚泥	動残付着包材
排出量	3639t	27t	2t	6175t	0 t	1214t
①現状	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(動植物性残さ・廃プラスチック) 例年に引き続き、昨年10月にメンバーを変え、排出量の多い動植物性残さと廃プラスチックの処理業者の施設を有志の従業員で見学。排出物の処理方法を学び、工場での分別及び排出量の削減に対する意識を高めた。 ・(汚泥) 例年に続き、昨年10月にメンバーを変えて製造の担当者を集め、廃水処理場の見学会を実施。廃水に対する理解を深めてもらい、節水及びクリーム等の付着した器具はペーパーで拭き取ってから洗浄するよう教育を実施した。 					
【目標】						
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃酸	廃油	汚泥		廃プラスチック類
	ロス生地・過剰製品 果実くず	液糖	エンジンオイル	汚泥	引抜き汚泥	動残付着包材
排出量	3600t	25t	2 t	6000 t	10 t	1200t
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロス生地は発酵して膨張する為、焼いてからコンテナに投入。定期的にロスコンテナをチェックし、焼かれていない生地を発見した場合は該当課に注意。 ・バナナの切れ端を他の製品として再使用する。 					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（平成30年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃酸	廃油	汚泥	汚泥	廃プラスチック類
		ロス生地・過剰製品 果実くず	液糖	エンジンオイル	脱水汚泥	引抜き汚泥	動残付着包材
	全処理委託量	3639t	27t	2t	1235t	0 t	1214t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	1235t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	3639t	27t	2t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1214t
(これまでに実施した取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃酸	廃油	汚泥	汚泥	廃プラスチック類
		ロス生地・過剰製品 果実くず	液糖	エンジンオイル	脱水汚泥	引抜き汚泥	動残付着包材
	全処理委託量	3600t	25t	2 t	1,200 t	10 t	1200t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	1,200 t	10 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	3600t	25t	2 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1200t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者への委託を検討。 							